

令和3年2月22日

令和2年度 三原市一校一貢献事業実施報告書

三原市立須波小学校

校長 坂田 登

1 実施期間 令和2年10月27日から令和3年2月26日

2 取組

(1) 概要

ゴミ拾いや草取りなどの校区内清掃（クリーン活動）を、保護者とともに年間に2回以上行い、須波の町をきれいにすることで、地域を愛する心情を育てるとともに、将来にわたる環境保全について考えていく。

(2) 具体的実践内容

- 児童会で話し合い、活動への取組について、代表委員会で全体に提案した。
- 活動前日までの昼休憩に学区長・班長を集め、活動のねらいと内容を説明した。活動前日に各学級で担任が児童に一校一貢献活動のねらいと内容を説明し、その理解を図った。また、軍手持参の指示を行い、火ばさみ・ビニル袋の管理や扱い方及び交通安全について指導した。
- 安全に気を付けて、決められた場所の清掃活動を30分程度行った。活動後班ごとに終わりの会を持ち、手伝ってくださった保護者の方にお礼を伝えた。
- 各学年の関連する教科等を考え、児童に活動のまとめや振り返りをさせ、学年ごとにまとめを書かせ、キャリアノートにファイルした。
- 活動後に自分が感じたことをまとめ、児童が書いたものは、一校一貢献事業の取り組みとして、参観日のときに南校舎1階に掲示し、保護者にクリーン活動の意義や成果を見ていただいた。

【学区長会】



【始めの会】



【校庭の草取り及び石拾い】



【須波ハイツ・須波西の登校班は、国道沿いの舗道の清掃】



【登校班ごとの終わりの会】



【児童の感想】

私は、クリーン活動でゴミを拾うことと6年生としてみんなをまとめることをがんばりました。自分たちがやった所もゴミがたくさんあったので、またいろんな所のゴミを拾って、きれいにしていきたいです。
(6年児童)

ぼくは、クリーン活動を通して、自分の町だけでなくどこの町でもきれいにしたいと思いました。これから、環境を守る行動をしたいと思います。
(5年児童)

(3) 成果

- 予定していた中学校との合同の活動が新型コロナウイルスのため中止になったが、学校独自で計画をし、予定して2回の活動をやりきることができた。1回目の活動は、道徳参観日の後に行ったことでPTAの参加も多く、児童も意欲的に取り組むことができた。2回目の活動も児童会を中心に活動呼びかけ、高学年を中心に意欲的に活動を進めることができた。
- 児童が活動する姿を見て、地域の人からも「良く頑張ってるね。ありがとうね。」などと声をかけてもらったり、「須波を大切に思う心を育ててもらってうれしい。」などの評価をいただいたりして、「自分からも町をきれいにしていこう。」とする意欲が高まってきた。
- 来年度に向けて、児童に一校一貢献活動の意義をしっかりと周知し、やらされる活動ではなく、自分たちの活動として動けるように児童と話し合っって計画を立てていく。